

私たちの力で、沼津駅の高架化を実現しよう

かけはし

- 主な記事
- 沼津駅の高架化促進「市民の集い」のご案内……………(1)
 - 未来へのかけ橋「沼津駅の高架化を実現して新しい都市づくり」座談会……………(2)・(3)
 - 沼津駅の高架化事業……………(4)
 - 市民の会の動き……………(4)

編集・発行／沼津駅の高架化を実現する市民の会
 沼津商工会議所内
 〒410 沼津市御幸町14-5
 TEL <0559> 31-1111(代)・FAX <0559> 31-1115

市民の集い

とき 十月三十一日(金)

開場 一八〇〇
開会 一八四五

ところ

沼津市民文化センター大ホール

この「市民の集い」は先に実施した十六万余の署名に示された皆さんの沼津駅高架化実現に対する熱意を、より強固にし、より確実なものにするために開催するものです。あなたが主役です。お互いにお誘い合わせのうえ、ご参加下さい。

(内容)

事例発表

テーマ「浜松駅の高架化はこうして実現した」

意見発表

市民の代表

決議文の採択

市民の会・沼津市

経過報告

市民の会・沼津市

ゲスト 財浜松市公園緑地協会理事 中澤 一夫氏

(注) お車でのお越しは相乗りでお願いいたします。

未来へのかけ橋

沼津駅の高架化を実現する市民の会

高架化を実現して新しい都市づくり

沼津駅の高架化は、私たち沼津市民にとって今世紀最大のテーマであります。そのため「市民の会」では本年五月発足以来、広報啓蒙、陳情、視察、署名運動などを実施し、来る二十一日には「市民の集い」を開催することになりました。そこで「市民の会」では、未来へのかけ橋——沼津駅の高架化を実現して新しい都市づくり——を目指す座談会を実施し特集にしました。出席してくださった方は別紙の八氏です。以下はその要旨であります。

製作／沼津駅の高架化を実現する市民の会事務局

南北交通

の円滑化

司会 本日はご多忙の中を、鉄道高架化の問題につきまして、座談会を開催させていただきました。市長さん、そして市議会や市民を代表して四人の方々と、アドバイザーとして沼津出身で現在東京でご活躍の清水先生にご出席いただきました。今なぜ鉄道高架化なのか、都市づくりについてどのように考えているのか、実現に向けて各界の役割分担は、そして事業の位置付けなどについてお気軽にお話ししたいと思います。まずはじめに基本的なお考えをそれぞれの立場でお聞かせ下さい。



宇野三郎氏

誇れる

まちづくり

斉藤 国内で旅行中の経験では沼津は三島の在と言われ、知名度が薄れて沼津が失われているなあと、非常なショックを受けた。しかし、沼津市には東部圏の核心的位置と商都・母都市としての機能を厳然として保持している。周辺に住む者として、沼津市は心の拠り所としてもっと栄えてほしい。

大獄 私は北側に住んでいますが、鉄道を挟んでの交通渋滞と地下道は、市民の日常生活にとって大変な負担となっています。歩行者の立場として、またこれから高齢化社会を迎えるとき、すでに非常な不便を感じています。このところ低迷している都市格差を感じて、誇れるまちづくりを目指して、一市民として婦人として参加協力していきたいと考えています。

清水 かつて昭和44年に駅前整備計画づくりに参画しましたが、当時の航空写真と比べて見ると、現在少しも変わっていないことに驚いた。沼津市はこの20年間何もやっていないことを実感しました。

市長 今年三月市議会に対し、鉄道高架化を初めて提案いたしました。それに対応して3月11日鉄道高架化促進対策特別委員会が市議会内に設置され、当初予算に沼津駅周辺総合整備基金20億円を計上し、4月には片内に鉄道高架対策室を設けました。5月14日には「沼津駅の高架化を実現する市民の会」が商工会議所・自治会連合会等を中心に



渡辺朗氏

とかけつけていくことが必要です。結びつけていくことが必要です。沼津市の現状と鉄道高架化の必要性をご発言いただいたところで、その実現に向けての施策をお話しいただきたいと思っております。



原新平氏

宇野 沼津市議会の特別委員会も市当局の意をうけてまた独自の活動を展開しており、力強いばかりです。

原 現在12名の委員で活動しています。市議会としては、国・県とのつながりの中で先走ってはいけない部分もあり、難しい事もありますが、対策室と連携を保ち推進していきたいと思っております。

司会 市民の会事務局である、商工会議所振興部長の山室さん、市民の会の活動や今後の予定をお話ししたいと思います。

市民の集い

を開催

山室 市民の会では色々な事業を行って来ましたが、行政・議会と同一歩調を進んでいます。9月22日には、市長・議長・市議会特別委員会正副委員長・市民の会の正副会長などが16万人余の署名を添えて県知事や県議会議長に7月22日に次いで二度目

高次元都市の構築

斉藤 実現すれば浜松より高次元の文明都市が構築され、交通システムも必然的に高度化していく。東京に近いし、ヘリポートの設置によってより機能的になっていくでしょう。

司会 沼津ばかりでなく周辺を含めて交通体系について配慮していくというんですね。都心も新宿に移るときに、沼津の役割はさらに大きくなると思います。

酒井 高架の問題を起点に、愛鷹テクノの丘・二市二町の合併・新宿や伊豆を念頭に沼津の生き残りをかけて、夢ある沼津の復活計画を進めていきたい。そのためにも高架の早期実現に向けて積極的に取り組むたい。



大獄生江さん

大獄 安全で安心して暮らせる利便性の高いよい暮らしを受けられるまちを夢見ています。

清水 沼津は住むのに非常に良い都市スケールをもっている。日常圏としては理想的といえる。外からの人々を迎えるばかりでなく、街づくりは住む人々の住む喜びのためでもあるので、高品質の都市づくりを目指すべきだと思ふ。

市民の後押し

が必要

司会 そろそろ時間が参りました。いままでのお話し合いを受けてご決意をお願いいたします。議会がしっかりと首領を取

橋

座談会



- 沼津市自治会連合会 会長 酒大 清 辻
- 環境設計清水研究室 代表 井 嶽 水
- 沼津フォーラム 代表幹事 文生 捷 昌
- 雄江 三 吉 (司会)

根本的な部分に手を加える時が来ています。特に沼津駅周辺は歩行者にとっても車にとってもいかに不便か。南北交通の円滑化・駅前交通渋滞の緩和を図り、都市の一体的発展を期するため、鉄道の高架化を何としても実現しなければと考えています。

都市の 一体的発展

市長 都市が栄えていくためには、まず市民自身の活力を伸ばしていくことが大切と考えています。沼津は鉄道によって南北に分断されています。各地区それぞれの特徴を生かしながら街の一体化した発展が望ましい。そのためにも、市民の中でご理解を得ることがまず必要です。市議会の中でもご理解を得、そして市の組織として鉄道高架対策室を設置し、積極的な取り組みを始めています。ぜひ市民の会として市民の声を結集していただきたい。

原 国鉄がJRとなり土地整理・合理化が図られているとき、高架化は夢ではない。沼津市の市民性を考えるとき、都市再開発に手をつけるのは難しい。しかし沼津市の将来のために、高架化を起爆剤として街づくりを進め、沼津市の活性化を図っていただきたい。

酒井 市民のために何をすべきかを真剣に見直す中で、素晴らしい都市づくりを実現するために、市民の力を結集して行政の後押しをしていきたい。そのためには市民の意志を表面に打ち出していくことが必要です。

沼津の北側の空間を最大限に生かしながら、南北交流のできる開かれた沼津をつくることを願っています。

未来へのかけ



出席者(順不同)
沼津市長 宇野 三郎 平芳
沼津市議会議員 野辺 新 政
沼津市議会議員 渡原 齊 藤
沼津商工会議所 会長 野 三郎
市民の会 会長 宇野 三郎
沼津市議会議員 渡原 齊 藤

発足し、陳情・視察・署名運動等の事業が進められています。市として早期実現へ向け力を結集するつもりです。

原 市民が情熱を持ち続けることが大きな力となると思います。行政や議会は、そのような市民の声を支えにそれぞれの役割を積極的に果たしていくことが大切です。



齊藤政芳氏

酒井 片浜駅をつくるタイミングにも行政側の推進力が大きな力となり、市民の力を結集できる大きな要素となったと考えています。

司会 行政・議会は市民の信頼に応える事が大切だと思います。市民の役割は事業推進の応援団となるわけですね。

原 市議会としても本年度の20億円の前算を、どの様に有効に事業に結びつけていくかを考えています。

司会 署名の時沿線の問題が出て来ましたが、浜松市様に行政側は木目細かい配慮と暖かい心くばりが必要となるでしょうね。



酒井文雄氏

私の見たところでは市の担当組織も積極的に取り組んでいますね。

酒井 市民にはそれぞれ個人的理由があるのです。駅北の場合も反対ではないのです。住民も趣旨は良く判っているのです。ただ自分達ごとの様になるのか不安を感じているので、一刻も早く具体的な絵を示して、市民の理解を得る必要があります。市側にもどうしても必要だという強い姿勢も必要ですね。問題が複雑にならないうちに解決したいと思えます。

司会 理解を得て安心して納得してもらうことが必要ですね。

清水 公共の資金で解決することは比較的やりやすいが、納得してもらおう事は非常に難しい。高所よりみて市民にとって将来必要なことは積極的に進めて行く判断が必要ですね。

着実に 事業を推進

大嶽 これだけ熱気が高まって来ていますが、実現までは大変に長い年月を要します。将来やって良かったなと喜びがある様に、しっかりとした事業をつくって進めてほしいと思います。

宇野 全国には多くの都市が鉄道高架の計画を持ち、中には調査を終え、実現の順番を待っていると聞いております。沼津市も早く計画をまとめる必要があります。

調査委員会の 設置

司会 市対策室・室長の勝又さん、他都市の状況はいかがですか。

勝又 現在調査が終了した都市は21ヶ所、調査中は10ヶ所もあります。県内では島田市も独自に調査をしております。

司会 では沼津市の状況はいかがでしょうか。

勝又 現在、国・県の指導を受けながら、今年度の調査項目や調査委員会の設置などを調整して

の陳情を行います。また、前半のくぎりとして「未来へのかけ橋・沼津駅の高架化を実現して、新しい都市(まち)づくり」をキャッチフレーズに掲げ、「市民の集い」を10月21日沼津市民文化センター大ホールで開催します。先進地の浜松駅のレポートや情報の提供をしながら市民の力を結集する場としたい。多くの市民に参加してほしいと思います。

未来に夢を かけて

司会 これからも正しく理解していただくために、イベントを開催していくことが必要ですね。



清水捷三氏

清水 地下式は高架式に比べて費用だけでも五倍以上もかかるばかりでなく、国の補助金にも制約がある上に、市の負担も巨額になると聞いています。高架も平坦地であるので2〜3kmの長い壁ができるので、側道やオーブンスペース・高架下の利用を考えると、メリットをつける必要があると思います。

司会 まずは、やれる所から手をつけていくことが必要ですね。

宇野 駅を中心とする近代的都市づくりがなされ、商都としての沼津の復活、住民にとってもより機能的な質の高いくらしが約束されます。

ついでかなければならない。市議会特別委員会としては、県・国との接点を大切にしていきたい。そのためには市民の後押しが必要条件となっておりますので、これからは是非応援してほしいと思います。



辻昌吉氏

市長 官民一体となった大きな力が必要です。沼津の繁栄を目指して「未来へのかけ橋」鉄道高架化の実現へ向けて全力を投入したいと考えております。そのためにも市民一人ひとりの力が必要であります。ご協力をお願いいたします。

司会 沼津市にとって高架化は必要な事業であり、実現のためには行政・議会・市民の会がそれぞれ役割を分担しながら力を合わせて進める必要があります。高架化事業それ事態も議論の事、関連派生して来る諸事業を推進していく多くの人々の力の中にこそ、沼津市の活性化への鍵が秘められていることを感じています。今日は長時間ありがとうございました。今後ともこのような機会を持ちたいと思います。

沼津商工会議所

専務理事 太田 孝男
振興部長 山室 公義

原町商工会
主任経営指導員 伏見 博行
沼津フォーラム

副代表幹事 荻生 昌平
(社)沼津青年会議所

地域交流委員長 辻村 浜夫
沼津市都市計画部鉄道高架対策室

室長 勝又 武利
主査 秋山精太郎

沼津商工会議所に於て収録
昭和六十二年九月十三日

鉄道の高架化

沼津市都市計画部鉄道高架対策室

今日までの経緯

鉄道の高架化は、沼津市の都市整備上の課題として、従来からいろいろ議論されてきました。

しかしながら、過去に行った市の調査では、鉄道施設(貨物施設等用地)の移転用地として、広大な土地を必要としたため、市内にその適地を求めることが難しく、このため鉄道高架化は、超長期的な課題として捉えられてきました。

一方、この度の国鉄改革で、国鉄の長期債務償還のため沼津駅構内の鉄道用地の一部が処分されることになり、市で行った調査ではこれら改革のなかで鉄道機能の整理縮小の方向が伺え、高架化に伴う鉄道施設の移転用地は従来いわれてきたものより、はるかに小規模で済みそうな状況となりました。

このような鉄道側の変化により、長年の課題であった沼津駅付近の鉄道高架化は、現実のものとして具体的な検討を行い得る状況となってまいりました。

また、昭和六十年から昭和六十二年にかけて駅北側に発生する旧国鉄跡地の土地利用計画等の検討・調査を行った「沼津駅周辺総合整備計画調査委員会」(国・県・市・JR等で組織、委員長黒川洗筑波大学教授)においても、沼津市の活性化を図るためには、鉄道の高架化が必要であるとの提言がされました。

鉄道高架化が

なぜ必要か

沼津市は、長い間静岡県東部の中

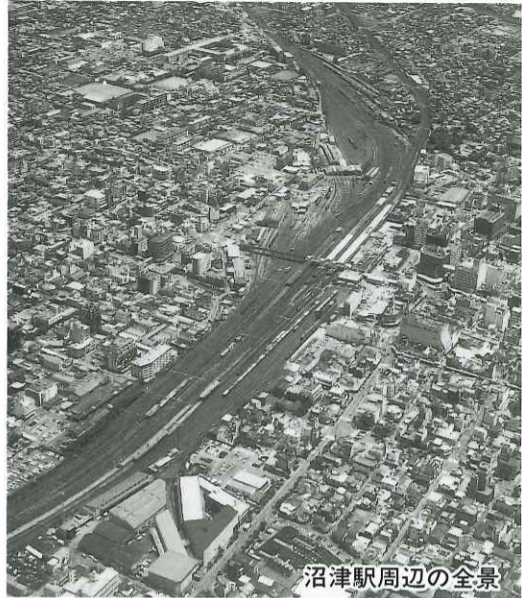
核都市としてその役割を担ってきた。しかし、近年は御殿場市、裾野市、函南町、伊豆長岡町といった周辺市町が、新たな事業所立地とあいまった高い人口増加率を示し、東部における都市圏の分化傾向を強めております。こうした状況を反映して沼津市の影響圏は、年々小さくなる傾向にあります。

沼津市が、今後ともに中核都市としての役割を担い、発展を続けていくためには、都市としての機能の向上と魅力づくりを積極的に進めていかなければなりません。それには、課題である中心市街地の交通問題を解決し、都心部の一体的形成を図り、そこに新たな高次都市機能を導入し、都市としての活性化を引き起こす必要がありま。鉄道の高架化は、そのための有力な方法であり、市としてはどうしても進めたい事業です。

事業化への

取り組み

鉄道の高架化は、何種類もの都市計画事業を同時に行うなど事業規模



沼津駅周辺の全景

も大きく、また、高度な技術、豊富な経験など必要とするため、国や県の支援がどうしても必要です。

JRなど関係する法人、機関なども多く沼津市独自では進めることができません。また、市民の皆さんの理解と協力も不可欠です。このように大規模で、しかも関係者も多く複雑な事業を調整しながら事業化にこぎつけるまでには、事業化前(工事に入る前)の調査期間に相当の年数が必要です。

こうした中で、本年度は、事業実現に向けての第一歩として、国及び県の直接の指導を受け二ヶ年の予定で、学識経験者、国・県・市・JRなどで組織する調査委員会を設置し、駅周辺地域全体の土地利用計画を展望し、高架化を含む駅周辺地域全体の整備計画などの検討を進める予定です。

あわりに

沼津駅の高架化を実現する市民の会が行った鉄道高架化促進のための署名運動で、署名数が十六万人を超えたことについて、その膨大な署名簿の重さと、市民の皆さんの「都市づくりへの熱望、現状への危機感の強さが改めて感じられました。

この事業は、大変長い期間を必要としますが、市としては、一日でも早く事業化できるよう取り組んでまいりますので、ぜひ、ご理解と、ご協力をお願いいたします。

「市民の会」の動き



- ① 盛大に設立総会を開催(5/14) = 商工会議所ホールで
- ② 街頭での署名運動実施(8/30-31) = 沼津駅前
- ③ 先進地浜松駅の視察実施(7/26)
- ④ 16万余名の署名簿を添えて斉藤知事へ陳情(9/22) = 県庁知事控室で
- ⑤ 浜松駅高架事業の全景



「市民の会」の動き

- 63・4・18 第1回発起人会
- 5・7 第2回発起人会
- 5・14 設立総会
- 6・18 第1回役員会
- 7・1 署名運動 署名人数 一六三、九五二名
- 7・8 事務局会議
- 7・12 全体会議
- 7・22 陳情
- 7・26 先進地浜松駅高架化事業視察
- 8・13 事務局会議
- 9・5 第2回役員会
- 9・10 事務局会議
- 9・12 全体会議
- 9・13 座談会 テーマ「未来へのかけ橋」
- 9・22 陳情 一六三、九五二名の署名簿を携えて県知事、県議会議長、県議会各会派代表に面談
- 9・29 事務局会議

編集後記

全市民的に展開した、署名運動の結果は、16万余名に達した。この民意は、沼津駅の高架化を実現して「新しい都市づくり」を目指す、まさに「未来へのかけ橋」、架橋事業のスタートである。

また、本会と皆さんをつなぐ「かけはし」でもある。

編集委員(順不同)

- 伏見 博行 荻生 昌平
- 辻村 浜夫 山室 公義
- 勝又 武利 秋山 精太郎



沼津駅前ロータリー広告塔